

## 安全データシート

作成日 2022年 3月 11日

改訂日 2024年 4月 1日

## 1. 製品及び会社情報

製品名	強力瞬間接着剤ミニツイン
品番	NS-811-2P
コード	29-767
会社名	プラス株式会社
住所	〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス12階
担当部門	CSR本部
緊急連絡電話番号	03-5860-8005
FAX番号	03-5860-8013
E-mail	env_psc@plus.co.jp
整理番号	G06D0129
推奨用途及び 使用上の制限	接着剤

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 物理化学的危険性

引火性液体 : 区分4

## 健康に対する有害性

皮膚腐食性・刺激性 : 区分2

目に対する重篤な損傷・目刺激性 : 区分2A

特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分3（気道刺激性）

※記載がない項目は、「区分に該当しない」、「分類できない」

## ラベル要素

## 絵表示又はシンボル



## 注意喚起語

警告

## 危険有害性情報

可燃性液体

皮膚刺激

強い眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

## 注意書き

## 【安全対策】

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。

- 取扱い後は手をよく洗うこと。
- 保護手袋・衣類・眼鏡を着用すること。
- 粉じん/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

## 【応急措置】

- 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
- 皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受けること。
- 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 気分が悪い時は医師に連絡すること。

## 【保管】

- 換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 施錠して保管すること

## 【廃棄】

- 内容物や容器を廃棄する場合は、法令・条例に従って廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物  
成分及び含有量

成分	CAS No.	含有量 (wt%)	化審法
2-シアノアクリル酸エチル	7085-85-0	<90	2-2789
メチル=メタクリラート重合体	9011-14-7	1~10	6-524
ヒドロキノン	123-31-9	0.1	3-543

## 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 無理やり剥がそうとしないこと。  
温かい石鹼水に浸し、ゆっくり剥がすこと。
- 眼に入った場合 : 大量の水で注意深く洗うこと。  
無理に目を開けようとするしないこと。硬化したかけらがまぶたの裏に入り眼球を傷つける恐れがあります。  
医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 気道がふさがれていないことを確認すること。  
製品は直ちに重合するため飲み込むことはほとんど不可能です。

## 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水スプレー、泡、粉末、二酸化炭素

使ってはならない消火剤	: 特になし
特有の危険有害性	: 刺激性の有機蒸気が発生する可能性がある。
特有の消火方法	: 特になし
消火方法	: 火元への燃焼元を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。
消火活動を行う者の特別な 保護具及び予防措置	: 保護衣を着用するほか、自給式呼吸器を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	: 漏出した場所を換気する。 保護眼鏡、保護手袋、防毒マスク等を使用して作業する。
環境に対する注意事項	: 漏出した場所の周辺にロープを張り、人の立入を禁止する。 付近の着火源を取り除き、消火器材を準備する。多量の場合には、流路を盛土等で 囲って流出を防止する。
封じ込め及び浄化方法と 機材	: 少量の場合は紙、布、砂等に吸収させ、フタ付きの器等に回収する。 多量の場合はゆっくりと水を氾濫させて重合させ、砂/土で吸収させる。 漏洩物中には滑り事故を引き起こすものがあるため、適切な方法で除去する。 自然発熱が起こる可能性があるため、除去作業に使用したウエス、砂等は適切な方法 で廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策事項	: 皮膚に触れないよう保護手袋、保護眼鏡等の保護具を着用する。
局所排気・全体換気	: 大量に使用する場合は、十分に換気されていることを確認する。
安全取扱注意事項	: 取扱い後は良く手を洗うこと。
接触回避	: データなし
保管	
保管条件	: 直射日光、熱源を避け、容器を密閉し、常温で保管する。
容器包装材料	: 容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	: 特になし
許容濃度	: データなし
設備対策	: 局所排気装置等の排気のための装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 有機ガス用防毒マスクを着用する。
手の保護具	: PE、ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。
目の保護具	: 保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣等を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	: 液体
色	: 薄白色半透明
臭い	: 刺激臭
融点/凝固点	: データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 100°C以上
可燃性	: データなし
爆発下限界及び上限界、 可燃限界	: データなし
引火点	: 81°C以上
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: 測定できない
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に不溶
n-オクタノール、 水分配係数	: データなし
蒸気圧	: 05mmHg 以下 (25°C)
密度及び/又は相対密度	: 1.1g/cm <sup>3</sup> (25°C)
相対ガス密度 (空気=1)	: データなし
粒子特性	: データなし

---

#### 10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の取扱い条件では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の手扱い条件では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	: 高温、火気、スパーク
混触危険物質	: 酸、アルカリ、酸化剤
危険有害な分解生成物	: データなし

---

#### 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 推定 LD50 : >5000mg/kg (区分に該当しない)
急性毒性 (経皮)	: 推定 LD50 : >2000mg/kg (区分に該当しない)
急性毒性 (吸入)	: データなし
皮膚腐食性・刺激性	: 軽度の皮膚刺激 (区分 2)
眼に対する重篤な損傷・ 刺激性	: 強い眼刺激 (区分 2A)
呼吸器感作性	: データなし
皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし

生殖毒性	: データなし
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	: 気道刺激性 (区分3)
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

---

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び都道府県条例等に基づき焼却するか、許可を受けた処理業者に委託する。ウエス等も同様である。
汚染容器及び包装	: 内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。

---

## 14. 輸送上の注意

国際規制	
国連分類	: 非該当
国連番号	: 非該当
輸送又は輸送手段に対する 特別の安全対策	: 「7. 取扱い及び保管上の注意」の項に記載による他、引火性の強い有害な液体に関する一般的な注意による。 その他、消防法、船舶安全法等の法令に定める所に従う。 容器に漏れのない事を確かめ、転倒、落下、破損がないように、積み込み荷崩れの防止を確実にを行う。

---

## 15. 適用法令

消防法	: 危険物第4類第3石油類(非水溶性液体)危険等級Ⅲ
労働安全衛生法	: 名称等を表示し、または通知すべき危険物および有害物 別表第9の205 2-シアノアクリル酸エチル 別表第9の461 ヒドロキノン
化学物質管理促進法 (P R T R法)	: 該当しない
毒物及び劇物取締法	: 該当しない

---

## 16. その他の情報

記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。  
また、注意事項は通常の取扱を前提としたものなので、これらを参考にし、自らの責任において用途、用法に

適した安全対策・適切な処置の実施をお願い致します。

※本書式は、JIS Z7253 : 2019 要求事項に準じて作成しております。